

豊島区立朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型 小中連携校および総合体育場の整備等を 考える会

スポーツ施設検討部会①

8月29日（金）

本日のプログラム

- 18:30～18:45 はじめに【15分】
(委員紹介、代替施設について、部会全体の流れ、本日の流れ)
- 18:45～18:50 2年にわたる検討内容の振り返り【5分】
- 18:50～19:10 グループワーク①
～各競技に必要な機能を出し切る～【20分】
- 19:10～19:20 豊島区スポーツ推進計画・共用部の事例紹介【10分】
- 19:20～20:00 グループワーク②
～スポーツ施設の共用部をどのように使いたいのか～【40分】
- 20:00～20:05 議論のまとめ【5分】
- 20:05～20:15 閉会の挨拶【10分】

本日のプログラム

- 18:30～18:45 はじめに【15分】
(委員紹介、代替施設について、部会全体の流れ、本日の流れ)
- 18:45～18:50 2年にわたる検討内容の振り返り【5分】
- 18:50～19:10 グループワーク①
～各競技に必要な機能を出し切る～【20分】
- 19:10～19:20 豊島区スポーツ推進計画・共用部の事例紹介【10分】
- 19:20～20:00 グループワーク②
～スポーツ施設の共用部をどのように使いたいのか～【40分】
- 20:00～20:05 議論のまとめ【5分】
- 20:05～20:15 閉会の挨拶【10分】

年間予定表

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
マスター工程	STEP 1 「知る」 ビジョンの共有や 既存施設・先端事例についての勉強会開催			STEP 2 「夢を描く」 より詳細な情報共有・勉強会開催 のうえ、ありがたい姿・課題を整理		STEP 3 「カタチにする」 コンセプトをもとにした機能連関・配置計画の検証 ※STEP2の内容を踏まえて設計者が作成した成果物をもとに方針や課題を整理					
全体	全体共有会 ・区 の ビジョンを知る ・考える会の進め方の共有	勉強会 ・ <u>既存施設</u> を知る 継承したい点 改善すべき課題等	勉強会 ・ <u>最先端事例</u> を知る 学校とスポーツの先進的な取り組み			コンセプト +計画方針 ・検討部会やアンケートの 声も共有	機能連関 ・各機能の 関係性 を考える 隣接、近接の配置関係 繋ぎ方・区切り方	配置計画 ・ <u>機能配置案</u> ごとの 良い点・課題を抽出 機能配置案は 設計者にて複数用意	提言書（案） ・成果とりまとめ ※状況に応じて 扱う内容は調整		
学校施設検討部会	各勉強会で扱った内容は 振り返りやすいよう、 <u>まとめシートを作成・配布</u>			小中連携の ありがたい姿と課題 勉強会 小中連携の 実績 に学ぶ 豊島区実績の生の声やデータ		勉強会 小中連携の 事例 を体験 他区事例を見学		ワーク ありがたい姿と課題		設計者にて用意した <u>プラン、イメージ図・写真、模型を使って、具体的に議論</u>	
スポーツ施設検討部会				スポーツ・学校連携の ありがたい姿と課題 ワーク ・2年にわたる検討内容の振り返り ・スポーツ施設の共用部について		ワーク ・スポーツと学校の連携 ・ありがたい姿と課題		検討部会の声と 多様なまちの声をもとに ありがたい姿として コンセプト（案） を作成			
子どもワークショップ				第1回 3校それぞれ ワークショップ ・学校の好きなところ ・小中一緒になったら したいこと		第2回 3校合同 ワークショップ ・スポーツ施設が一緒 になったらしたいこと		第3回 3校合同 発表会 ・成果発表 ※検討部会より 代表者数名も参加			
イベント	多様なまちの声を集める 学校・スポーツ施設の整備について 地域のみなさんの声を聞くブースを出展			▼ファーマーズマーケット (7/13)		▼としまスポーツまつり＆防災フェス (10/13)					
				▼アンケート配布 (7月中旬)		▼アンケート回収 (9月初旬)					
アンケート											
とりまとめ											

とりまとめ

| スポーツ部会の進め方

「STEP2 夢を描く」の目的

学校施設検討部会、スポーツ施設検討部会に分かれて、**より具体的な情報共有＋事例勉強会**を行ったうえで、スポーツ施設として充実、学校・スポーツ施設連携にむけた「**ありたい姿と課題**」を整理します。

補足説明

「STEP3 カタチにする」では、「STEP2」の成果をもとにして設計者が作成したコンセプトや配置計画・模型・3Dパース等の具体的な計画を見ながら、様々な視点や意見をいただく予定です。

スポーツ部会全2回の進め方

【8/29開催】第1回検討部会

より具体的な情報共有・事例勉強会

01 2年にわたる検討内容の振り返り

- ・令和5～6年の意見交換会の内容＋事前ワークの振り返りと今回の方向性
- まとめシートについて共有
- 議論の方向性を提示（実現の優先順位を議論・実現方法について）

メイン

02 ワーク① 各競技に必要な機能を出し切る

- ・事前ワークシートを事務局にて集約したものを提示
- まとめシートを元に、競技スペース別のグループで議論

メイン

03 ワーク② 確保できる面積が増えた場合、共用部をどのように使いたいか

- 事例共有：区の方針を共有し、事例を紹介
- ワーク：①事例と事前ワークの内容を元に、各競技スペース事のグループで議論
- ②各グループの意見を全体で共有し、目指したい共用部のあり方について議論

スポーツ施設
検討部会

【9月開催】第2回検討部会

ありたい姿と課題を整理

01 第1回検討部会の振り返り

02 子どもワークショップ成果の共有

03 学校とスポーツの複合事例紹介

メイン

04 ワークショップ

- ①学校と一体で整備されることで共有できる活動・空間
- ②スポーツ施設としてのありたい姿と課題を整理

視点（例）

- ・学区の施設、豊島区の施設としての利用イメージ（共用・すみ分け）
- ・学校との連携によるスポーツ教育、生涯活動のイメージ
- ・連携による学校教職員の負担軽減案や近隣住民への影響最小限案 等

STEP 3 「カタチにする」の進め方

※参考：千川中学校建替え基本構想に関する（考える会）提言書

〈コンセプト＋計画方針〉

【10月】

コンセプト



都市の文化と歴史に包まれて、
楽しく学び、仲間と集い、
地域と共に歩んでいく 千川中学校

計画方針

1. 生徒たちの楽しい居場所となる学校

①○○○○○

2. 千川中学校らしさが現れた学校

①○○○○○

3. 地域交流が生まれる学校

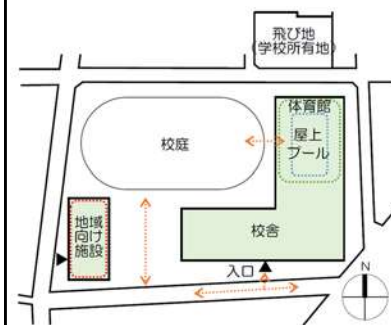
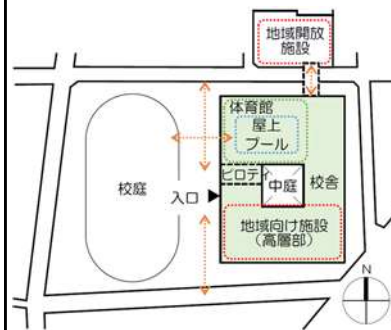
①○○○○○

4. 地域の防災拠点となる学校

①○○○○○

〈機能連関＋配置計画〉

【11月・12月】



いくつかの配置・建物ボリュームを検討し
良い点・課題を抽出

〈提言書〉

【1月】

これまでの意見のとりまとめ

スポーツ施設検討部会でのスポーツ施設としてのありたい姿
(意見や想い)

学校部会



スポーツ
部会



子どもWS



アンケート



| 今回の会議の進め方

ワーク①

各競技に必要な機能を出し切る



事前ワークの回答を盛り込んだ
ワークシートを元に議論
追加すべき機能や、重要な
視点を整理

ワーク②

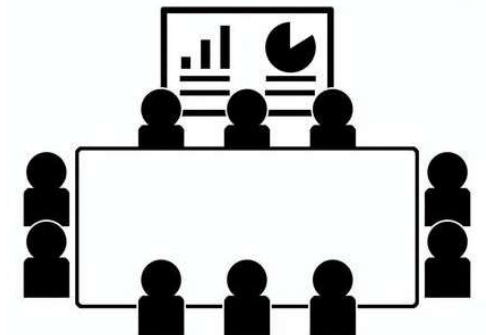
スポーツ施設の共用部をどのように使いたいのか



共用部の使い方事例をご紹介します



グループ内で感想を共有し、
共用部の使い方のイメージを
膨らませる



グループの意見を全体で
共有し、意見を塗り重ねる

本日のプログラム

- 18:30～18:45 はじめに【15分】
(委員紹介、代替施設について、部会全体の流れ、本日の流れ)
- 18:45～18:50 2年にわたる検討内容の振り返り【5分】
- 18:50～19:10 グループワーク①
～各競技に必要な機能を出し切る～【20分】
- 19:10～19:20 豊島区スポーツ推進計画・共用部の事例紹介【10分】
- 19:20～20:00 グループワーク②
～スポーツ施設の共用部をどのように使いたいのか～【40分】
- 20:00～20:05 議論のまとめ【5分】
- 20:05～20:15 閉会の挨拶【10分】

| 2年間の振り返り

計画変更

◆令和5年

ースポーツ施設は**別棟**で整備するー

■中心の議題

スポーツ部会で扱う内容

- ・各競技のスペース確保・配置レイアウトについて
- ・駐車場の位置と台数
- ・工事期間中の代替地

生涯学習・スポーツ課にて検討を進める

■開設予定

- ・令和9年4月

■考える会の進め方について

- ・設計が始まる前に要望を出し切り、実態に沿った施設にしていきたい

◆令和6年

ー小中学校と総合体育場を**一体**で整備するー

■中心の議題

スポーツ部会で扱う内容

- ・新プランの魅力について
 - R5年時点の6000㎡より広くできる
 - 校庭、野球場、屋内競技場のいずれも現状と同等以上のスペースを確保しつつ、新しい設備にできる
- ・工事期間中の代替地

生涯学習・スポーツ課にて検討を進める

■開設予定

- ・令和16年（校舎／屋内体育場）
- ・令和18年（野球場）

■考える会の進め方について

- ・設計前の考える会で素案を要望した方が良いのでは

本日のプログラム

- 18:30～18:45 はじめに【15分】
(委員紹介、代替施設について、部会全体の流れ、本日の流れ)
- 18:45～18:50 2年にわたる検討内容の振り返り【5分】
- 18:50～19:10 **グループワーク①**
～各競技に必要な機能を出し切る～【20分】
- 19:10～19:20 豊島区スポーツ推進計画・共用部の事例紹介【10分】
- 19:20～20:00 **グループワーク②**
～スポーツ施設の共用部をどのように使いたいのか～【40分】
- 20:00～20:05 議論のまとめ【5分】
- 20:05～20:15 閉会の挨拶【10分】

20分

テーマ

各競技に必要な機能を出し切る

ワークシートの内容を確認し
追加すべき機能や、重要な視点を整理

本日のプログラム

- 18:30～18:45 はじめに【15分】
(委員紹介、代替施設について、部会全体の流れ、本日の流れ)
- 18:45～18:50 2年にわたる検討内容の振り返り【5分】
- 18:50～19:10 グループワーク①
～各競技に必要な機能を出し切る～【20分】
- 19:10～19:20 豊島区スポーツ推進計画・共用部の事例紹介【10分】
- 19:20～20:00 グループワーク②
～スポーツ施設の共用部をどのように使いたいのか～【40分】
- 20:00～20:05 議論のまとめ【5分】
- 20:05～20:15 閉会の挨拶【10分】

豊島区スポーツ推進計画 2025-2034【概要版】

計画の位置付け

本計画は国の「スポーツ基本計画」、東京都の「スポーツ推進総合計画」を踏まえ、本区におけるスポーツ施策を計画的に推進するための具体的な取組や方向性を示したものです。区の上位計画である「豊島区基本構想」、「豊島区基本計画」の内容も踏まえながら、区の関連計画とも連携する計画として位置付けます。

本区のスポーツの定義

ルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性のスポーツだけでなく、健康づくりや介護予防のためのウォーキング、トレーニング、軽い体操をはじめ、意識的に行う日常生活の中の階段の昇り降りや散歩、サイクリング、レクリエーションなど、自発的に楽しむ運動をスポーツとして扱います。

NEW

本区のeスポーツの考え方

スポーツの要素が高く、誰でも気軽に楽しめる身体活動を伴い、心身ともに健康の維持増進につながるものを豊島区のeスポーツとして捉えます。

計画期間

R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034

豊島区スポーツ推進計画【10年】

前期期間

後期期間

基本理念

スポーツでみんながつながり、笑顔あふれるまち としま

本区の現状

- ・人口密度が高い
- ・外国籍の方々の増加
- ・一人暮らしの高齢者が多い
- ・子どもの体力低下
- ・学校部活動地域連携・地域移行

本区の課題

- ・子どもの体力向上
- ・スポーツ観戦機会の充実や情報発信
- ・スポーツ実施環境の整備
- ・身近なスポーツ施設の利用促進や充実
- ・障害者でも楽しめるスポーツの促進
- ・誰もが気軽にスポーツに親しむことができる機会の充実

本計画における数値目標

項目	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)
週1日以上スポーツを実施する区民(成人)の割合	59.6%	70% 以上
週1日以上スポーツを実施する障害のある20歳以上の割合	32.5%	50% 以上
1年間にスポーツを観戦した区民(成人)の割合	69.2%	75% 以上
NEW 上記のうち、会場等で直接観戦した区民(成人)の割合	—	50% 以上
1年間にスポーツを支援する活動に参加した区民(成人)の割合	6.1%	20% 以上
NEW 自身のスポーツライフやスポーツへの関わり方に対して幸福感を感じている区民(成人)の割合	—	60% 以上

計画全文は
こちら



基本目標1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことができるまちの実現

- | | |
|--|------------------------------|
| 施策1 スポーツに親しむきっかけづくり | 施策6 スポーツ観戦の機会促進 |
| 施策2 子どものスポーツ活動の推進 | 施策7 スポーツ実施施設の充実 |
| 施策3 世代やライフステージに応じたスポーツ活動の充実 NEW | 施策8 新たなスポーツの普及啓発 |
| 施策4 高齢者のスポーツ活動の推進 | 施策9 スポーツ関連情報の発信 |
| 施策5 障害者のスポーツ活動の参加促進 NEW | 施策10 スポーツハラスメント、暴力の根絶 |

※青字は本計画より掲載した新たな施策

【成果指標】

- 「生涯スポーツ推進事業」への参加者数
- 区立スポーツ施設利用者数
- 週1日以上スポーツを実施する区民(成人)の割合

基本目標2 スポーツを通じた多様性の実現と人と人が支え合う共生社会の実現

- NEW** 施策1 パラスポーツ、インクルーシブスポーツの普及促進
- 施策2 スポーツ活動を支える人材の育成、支援
- NEW** 施策3 スポーツ活動を通じた地域の交流促進
- NEW** 施策4 外国籍の方々のスポーツ活動の推進
- 施策5 東京2020大会等のレガシーの継承



【成果指標】

- 「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」について肯定的な回答をする区民の割合
- パラスポーツ、インクルーシブスポーツ体験イベントなどの実施数、イベント参加者数

基本目標3 スポーツを通じた地域活性化と持続可能社会の実現

- NEW** 施策1 スポーツ活動を行う団体等との連携
- NEW** 施策2 民間事業者、大学等との連携
- 施策3 スポーツを通じた都市交流の推進
- NEW** 施策4 学校部活動地域連携・地域移行の推進



【成果指標】

- 民間事業者や大学などと連携して実施した事業の実施数
- 都市交流を契機としたスポーツ交流事業の実施数

Point

としまらしさをピックアップ

本編
P79

豊島区として力を入れている施策に関連する事業や、豊島区ならではの特色が感じられる事業など、「としまらしさ」を生かした施策をピックアップしています。

子ども

アーバンスポーツ

eスポーツ

外国籍の方々

区内大学との連携

マンガ・アニメ

学校部活動
地域連携・地域移行

区が考える
としまらしさ
7 個

NEW

本計画より記載した **新たな施策** (一例)

区立スポーツ施設の子ども料金無料化による、スポーツ施設の利用促進 ▶▶ 高校生相当の無料化は**23区初**!

民間事業者との連携による、**アーバンスポーツ体験**などのイベントの実施

最新技術の活用を通じた**eスポーツ**などの実施機会の創出

数値目標に“自身のスポーツライフやスポーツへの関わり方に対して幸福感を感じている区民(成人)の割合”を定めて**ウェルビーイング**の向上を目指す

いただきたい意見

- ①. 現施設の共用部で**改善したい**部分
- ②. 実現したい**活動**
- ③. ②の活動を可能にする**空間**

どの視点からの意見でも構いません
一つの視点からの意見でも結構です

いただいた意見を元に提言書を作成してまいります。

ハード

○機能

- ・既存施設にある機能
- ・既に要望の出ている機能
- ・新規機能



○豊島区推進計画

- ・生涯スポーツ
- ・多様性の実現
- ・地域活性化

設え方：多目的利用・可変性・バリアフリー

ソフト

○活動（イベント）

○運営

○システム

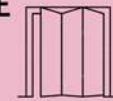
凡例

ハード

多目的利用



可変性



バリアフリー



ソフト

システム



運営



イベント



事例目次

01	さわやかアリーナ袋井市総合体育館	バリアフリー 	多目的利用 	運営 	イベント 	システム 
02	よつ葉アリーナ十勝	可変性 	バリアフリー 	多目的利用 	運営 	イベント 
03	大浜だいしんアリーナ・だいしん大浜武道館				可変性 	多目的利用 
04	日本財団パラアリーナ		バリアフリー 	運営 	イベント 	
05	鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリア		バリアフリー 	運営 	イベント 	
06	舞鶴文化公園体育館		バリアフリー 	多目的利用 		

ハード



ソフト

運営



イベント



システム



③「支えるスポーツ」



プライバシー性の高い空間に配慮し、より多くの市民が活用しやすいさまざまな場所の提供

④交流を生み出す施設



交流を促進する5つの要素を持つ空間にアメニティ性を重視した交流空間の整備

⑥市民の元気があふれる施設



子どもから高齢者までスポーツを通じた多世代交流を生み出すことで市民が元気になる施設

⑧地域にやさしい施設



ライフサイクルコストの削減と自然エネルギー活用や省エネルギー手法を導入

悪天候の日に、子どもが外では遊べないため、いつでも楽しく遊ぶことができる環境が求められている。



屋内に大型遊具を配置。小さい頃からスポーツを身近に感じることができる環境を整備。

子どものことを見守り、安心して遊ばせつつ、親もともにスポーツ等に取り組むことができる環境がない。



ガラスの仕切りで双方の部屋から視認可能。親が子どもを見守りながらトレーニングができる。

こども広場 (屋外)



子どもが安心して利用できるようなキッズトイレやベビールーム (授乳室) 等を完備。

大会や利用者の状況によって、必要となる規模が異なる。



男女更衣室の表示板を張替え可能なマグネット式とし、相互に利用できるようにしている。

利用者 Voice

- 全体的にとっても優しいつくりになっている。例えば、車いす用出入口は、身体障害者用駐車場のすぐ脇にあり、雨に濡れずに入る事ができる。
- トイレの位置がわかりやすくてよい。
- 子どもの遊び場もあり、気兼ねなく遊ばせることができ、ジムもあって使いやすい。

○施設の魅力を高めるためのサービス

■様々な利用属性へのサービス提供

- 初心者からアスリート、子どもから高齢者、外国人まで様々な工夫によるサービスを提供する。

初心者からアスリート



ウェルネスシステムの導入



多彩な教室プログラムの開催

障害者や外国人等



様々な車いすの配置



対話支援システム等

市民利用



総合防災訓練



カフェの運営

バリア
フリー

多目的
利用

可変性 



幼児室・キッズスペースの充実



2階観覧席スペースの活用事例（左：観覧席使用時、右：未使用時フリースペース活用）



空きスペースの活用（左奥：給湯室として利用、右：セルフドールとして利用）



現在の利用状況はこちら 

←HPよりアクセス可能

←リアルタイムの利用状況を YouTubeにてライブ配信



放送席利活用（左：解放時、右：審判員控室）

イベント開催時以外にも、一般の利用者が観覧席を利用できるなど、様々な利活用が行われており、地域の人々にとって有用な場所となっている。

ハード

多目的
利用

可変性

【ポイント①】歴史を継承する新たなランドマーク施設

- ・地域の歴史をデザインモチーフに取り入れ、公園に新たな光を灯し、公園の魅力を向上
- ・リライトウォールは旧堺燈台をモチーフにしており、シックプライドの醸成を促す。



旧堺燈台をモチーフにした外見



【ポイント③】誰もが気軽にスポーツを楽しむ

- ・アリーナには可動間仕切りを設け、市民・住民の柔軟な利用展望にも対応可能。
- ・地域住民の多様なニーズに応えるトレーニング室やキッズスペース等の諸室を構成。



トレーニング室



キッズスペース（無料）

【ポイント②】気軽に集えるスポーツストリート



「スポーツストリート」は競技の合間やトレーニング後のリフレッシュ、友人との待ち合わせ、親子連れの休息など、さまざまな用途で活用されている。



スポーツストリート

【ポイント④】遊び×スポーツ

- ・スポーツを「する」「みる」だけでなく、様々な用途で施設をたくさん利用するきっかけを提供。



遊び場とエントランス



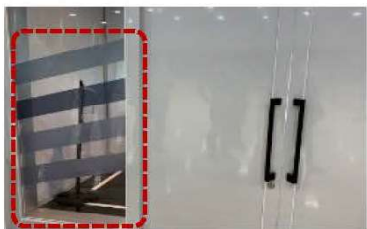
アリーナエントランス

車いす利用者は、一般の体重計で計測することが難しい。



車いすに乗ったままでも使用できる体重計の設置。

弱視等の視覚障害者は、透明のガラスを認識しづらく、扉と誤認し、衝突する恐れがある。



扉のガラス面に黒いテープを貼り付けて視認性を高め、安全性を向上。

■車いす利用者への配慮

・競技用車いすは、一般の車いすに比べて、幅が広い。そのため、競技用車いすでも移動しやすい工夫を実施。

- 扉は引き戸とし、幅員を広く確保する
- 扉の手すりは長くし、どんな体格の方でも掴みやすくする
- 廊下に手すりを設置しない
- 点字ブロックは受付まで、館内では車いす利用がしやすいよう、設置しない 等

車いすの足元が入るスペースがないと、ロッカーの奥まで手が届かず使いづらい。



車いすの足元が奥まで入るスペースを設けられており利用しやすい。
車いす利用者でも使いやすい高さにハンガー掛けのあるロッカー。

車いす利用者や体幹の弱い人など、立ってシャワーを浴びることができない場合がある。



座って利用できるようにいすやマットを設置。両側からお湯が放出され車いすに乗ったままバスタブに浸かるように体を温めることのできるシャワーも設置。

移動空間

➤ 車いす利用者が多い施設であることから、車いすでも移動しやすい環境を実現している。

視覚障害者は、壁を認識しづらい場合がある。



壁の近くの白線により壁との距離を伝達。色の対比によって、視認性を高め、斬新なイメージも創出。

車いす利用者など視線の低い人は案内表記が上にあると見づらい。



各部屋の入口前に部屋名を表記。また、部屋内に埃等を持ち込まないよう、マットを設置。

ドアレールが下にあると段差ができ、車いす利用者にとって不便。



車いす利用者が安心して通ることができるよう、上吊り引き戸とすることによって、下の段差を解消。



○日々改善、より使いやすい施設へ

■より良い施設とすべく日々改善を図る

- ・パラリンピック競技の日本代表合宿やクラブチームの練習等、多くのパラアスリートが利用している。
- ・一方、施設運営を進めていく中で、利用者の要望により、適宜改修を行うなど、建設時に完璧な施設ではなく、日々改善を図り続けている。

例えば、車いす競技者から「洗面台の下に足がつかえて使いづらい」という声があったため、台下に足が入るようにする、ガラス戸がわかりづらいということから、黒いラインを入れる等、日々改善を進めている。

○普及啓発活動の場として活用

■パラアリーナで普及啓発活動「あすチャレ！」を実施

- ・パラサポが実施する**パラスポーツを通じたダイバーシティ&インクルージョン(D&I)教育・研修プログラム「あすチャレ！」**をパラアリーナでも開催している。
- ・パラスポーツを取り入れた「あすチャレ！運動会」を修学旅行生を対象に実施。
- ・「あすチャレ！ファミリーアカデミー」特別版では、車いす利用者の目線でパラアリーナのユニバーサルデザインを見学。



効果

- ・稼働日率100%で、多くのパラアスリートに利用されている。
- ・車いすバスケットボール、車いすラグビー、ボッチャ、パワーリフティング、ブラインドサッカー、卓球、テコンドーなどの選手の利用が多い。シットイングバレーボールなども定期的な利用がある。

利用者 Voice

- ・パラアスリート目線で作られていて、練習を行う際、とても使いやすい。
- ・車いす競技だと、練習できる場所が少ないため、パラアリーナがあることによって、練習環境が充実している。
- ・多くのパラアスリートが集まる場所なので、他チーム・他競技から刺激を受けることも多い。

ハード



利用者が急変、利用に際して困りごと等が生じる。



側壁を極力なくし、受付からスタッフが施設内を見通せるよう工夫。

状況の異なる利用者からの相談にのることが難しい。

相談室



医師や理学療法士が定期的にスポーツを行う際の疑問や悩みの個別相談を実施。



・交流スペースの設置による利用者とのコミュニケーションの醸成。



・車いす専用、ハートフル駐車場を設置。施設付近には屋根を設け、雨にも濡れず施設内へ。

利用者
Voice



靴のまま入れたり、車いすのタイヤを拭かずに利用できるのが便利



自分の障害に合わせたプログラムを組んでもらえて助かった

障害者は、無料なので年間途中で登録しやすい



さまざまなスポーツ教室があるため、自分にとっては新しいスポーツと出会うことができる

交流スペースや芝生がおしゃれで福祉施設という感じがしない
コミュニケーションの場となっていて楽しみ



ソフト

運営



イベント



○誰もが参加できるスポーツ教室の開催

■多種多様なプログラムの企画・実施

・障害のある方もない方もスポーツを通して交流することができる教室を開催し、多くの利用者が参加。

21. バドミントン教室 ※定員に達しました

日程：土曜日（月1回）	時間：13:30～15:30（120分）
定員：12名	講師：鳥取県バドミントン協会
バドミントンの基本的な技術を中心にを行います。	

5. ストレッチ教室 ※定員に達しました

日程：月曜日（月2回）	時間：14:00～15:00（60分）
定員：20名	講師：Fitness Ja-んぐる
ストレッチの方法を学ぶことで姿勢の改善を図り、運動のきっかけづくりを行います。	

4. キッズスポーツ教室 ※定員に達しました

日程：月曜日（月2回）	時間：16:30～17:30（60分）
定員：15名	講師：Fitness Ja-んぐる
未就学児を対象に、遊びを通してスポーツを始めるきっかけづくりを行います。	

10. ゆっくりヨガ教室

日程：月曜日（月1回）	時間：15:00～16:00（60分）
定員：12名	講師：ヨガカームディ〜 池野真未先生
障がいの程度や年齢に応じて、よりゆっくりとしたペースでヨガを行います。	

○ボランティア（スポーツFunネット）の人材育成

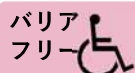
■人材育成プログラムの展開

・障害者がスポーツを始める、続けていくことをサポートする人材、また、一緒にスポーツを楽しむ！応援してくれる人材の育成を実施。

・研修を受けたボランティアは、ノバリアだけではなく、その他の地域のスポーツ施設での支援等、県内に波及。



ハード



車いす利用者をはじめ、誰もが開けやすいよう、引き戸を採用。
洗面も様々な利用者に配慮し、高さの異なるものを設置。



女性競技選手や利用者に配慮して、お化粧直しや身支度がしやすいよう、スタイリングコーナーを設置。

シャワー室が古いため、施設利用者に適した環境になっておらず、不便を感じる場所となっている。



男女シャワー室において、車いす利用者も旋回しやすい広さを確保。（幅800mm×奥行1,200mm）

高齢者や子連れ利用者など、施設内に気軽に身体を休めるスペースが少ない。



施設内の限りのあるスペースを有効活用し、通路にベンチを設置。

本日のプログラム

- 18:30～18:45 はじめに【15分】
(委員紹介、代替施設について、部会全体の流れ、本日の流れ)
- 18:45～18:50 2年にわたる検討内容の振り返り【5分】
- 18:50～19:10 グループワーク①
～各競技に必要な機能を出し切る～【20分】
- 19:10～19:20 豊島区スポーツ推進計画・共用部の事例紹介【10分】
- 19:20～20:00 **グループワーク②**
～スポーツ施設の共用部をどのように使いたいのか～【40分】
- 20:00～20:05 議論のまとめ【5分】
- 20:05～20:15 閉会の挨拶【10分】

テーマ

スポーツ施設の共用部をどのように使いたいか

議論手順

事例を元に、グループ内で意見交換

10分



グループの意見を全体で共有し、
意見を塗り重ねる

30分

本日のプログラム

- 18:30～18:45 はじめに【15分】
(委員紹介、代替施設について、部会全体の流れ、本日の流れ)
- 18:45～18:50 2年にわたる検討内容の振り返り【5分】
- 18:50～19:10 グループワーク①
～各競技に必要な機能を出し切る～【20分】
- 19:10～19:20 豊島区スポーツ推進計画・共用部の事例紹介【10分】
- 19:20～20:00 グループワーク②
～スポーツ施設の共用部をどのように使いたいか～【40分】
- 20:00～20:05 議論のまとめ【5分】
- 20:05～20:15 閉会の挨拶【10分】

本日のプログラム

- 18:30～18:45 はじめに【15分】
(委員紹介、代替施設について、部会全体の流れ、本日の流れ)
- 18:45～18:50 2年にわたる検討内容の振り返り【5分】
- 18:50～19:10 グループワーク①
～各競技に必要な機能を出し切る～【20分】
- 19:10～19:20 豊島区スポーツ推進計画・共用部の事例紹介【10分】
- 19:20～20:00 グループワーク②
～スポーツ施設の共用部をどのように使いたいのか～【40分】
- 20:00～20:05 議論のまとめ【5分】
- 20:05～20:15 閉会の挨拶【10分】

ありがとうございました